

クリスマスおゆうぎかい



♪ もりやまに響き渡る歌声 ♪

MERRY X'MAS



秋田県五城目町
朝市と城のある町

みんなの町議会

Contents

主な内容

- 12月定例会の概要／年始の挨拶 …… 2～3
- **特集** ごじょうめ子ども議会 …… 4～5
- 一般質問に10名登壇 …… 8～18

No.161
2025.1.1

2025

あけまして

おめでとうございます

(森山頂上からの雲海)

12月
定例会

議会の経過

12月定例会は12月9日から16日まで8日間の日程で開かれた。

初日

- 4件の議員研修報告の後、渡邊町長は行政報告で、
 - 五城目町第7次行政改革推進プログラムの策定
 - 地域防災計画の改訂
 - 子ども・子育て会議の開催
 - 地域計画の策定状況
 - 全国朝市サミットの開催
 - 矢田津世子没後80年事業などを述べた。
- また、渡邊町長は議長に発言の機会を求め、来年2月に行われる町長選には立候補せず、今期で退任することを表明した。

2日目

一般質問に6名が登場。需給調整米、財政の現状と課題、ウォームシェアの提言、朝市の取り組み、ICT教育の推進状況、子どもの遊び場確保などについて質問した。

3日目

4名が一般質問に立ち、産業振興、農業の継承、シルバー人材センター、水害関連について質問。

4日目

各常任委員会を開催。各常任委員長報告のあと、全議案を可決、承認した。また陳情7件を採択、1件を継続審査とし、委員会提出議案7件を可決した。

荒川滋議員より議員辞職願が提出され、全会一致でこれを許可した。議会運営委員の欠員に伴い、新たに議会運営委員1名、議会運営委員長を選任し、閉会した。

議会運営委員長 佐々木仁茂
議会運営委員 小玉 正範

年頭のあいさつ

風雪に耐え、春を呼ぼう



議長 石川 交三



あけましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては輝かしい新年をお迎えのことと、心よりお慶びを申し上げます。今年の干支は「巳（み・へび）」。へびが脱皮しながら成長するように「努力を重ね、物事を安定させていく」という意味合いの年とされています。巳年生まれの方は「向上心が旺盛で粘り強い努力家」といわれます。

核廃絶をわが町も宣言しています

ノーベル平和賞を日本原水爆被害者団体協議会が受賞しました。長年に亘って原爆が人間にもたらした被害を明らかにして「ふたたび被爆者をつくらない」ために、核兵器廃絶と原爆被害の国家賠償を求め続けてきた運動によって、世界中に核のタブーが形成され、戦後八十年近い間、戦争で核兵器が使用されてこなかった事実が高く評価されたものです。被団協の代表委員である田中照巳さん（九十二歳）は受賞演説で、核使用が取り沙汰される現状に「限らない憤りを覚える」と危機感を示し、最後に「人類が核兵器で自滅することのないよう、共に頑張りましょう！」と声を絞って訴えました。わが町は昭和六十三年に「非核平和の町」宣言をしています。核廃絶して、真の恒久平和を実現することは、世界唯一の核被爆国、日本国民共通の悲願であり緊急課題であると、町民の総意を結集して宣言しています。

平和な中で心穏やかに暮らすことが一番でしょう。コロナ感染はまだ油断できません。天候不順による災害不安もクマの心配もあありますが、こんな時だからこそ「みんなで心寄せ合って、助け合って、声かけあって」暮らしたいものであります。町民各位にとりまして、幸多い年となりますよう祈念し、新春を寿ぎ、年頭のあいさつといたします。

(椎名 志保)

今定例会で可決した主な内容

- 損害賠償の額を定めることについて
- 組織機構改革等に伴う関係条例の整備に関する条例制定について
- 予約式乗合タクシーに関する条例制定について
- 補正予算の主なもの
 - ・ 財政調整基金 1億6315万円
 - ・ 子ども子育て支援費負担金 500万円
 - ・ 除雪事業 8389万円



本町部の戸口運行も可能に

指定管理者決まる

- 施設名** 馬場目岳周辺自然ふれあい施設 盆城庵及び五城目町地域資源活用総合交流促進施設清流の森 清流の会
 - 指定管理者名** 馬場目地区町内会長会
 - 施設名** 五城目町高齢者等活動・生活支援促進機械施設馬川交流センター
 - 指定管理者名** 馬川地区町内会長会
 - 施設名** 五城目町馬場目地区文化交流センター
 - 指定管理者名** 馬場目地区町内会長会
 - 施設名** 五城目町総合生きがいセンター
 - 指定管理者名** 内川地区町内会長会
 - 施設名** 五城目町農村環境改善センター
 - 指定管理者名** 大川地区町内会長会
 - 施設名** 五城目町森山地区公民館
 - 指定管理者名** 森山地区町内会長会
- いずれの施設も指定の期間は、令和7年4月1日から令和10年3月31日までとする。

(椎名 志保)

特集 子どもたちの声を町政に

2024.10.15 ごじょうめ子ども議会



質問 町内にある空き家の軒数は。

□□ □□ (中3)

答弁 R3の空き家300軒、R6は現在調査中だが、600軒程度とのこと。その中で活用できる空き家は2軒のみ。
提言 空き家を改修した移住体験施設をつくれぬか。



質問 町の魅力をキャンプ場の利用状況は。

□□ □□ (中3)

答弁 補助制度があるので、ぜひ皆さんもチャレンジしてほしい。
質問 熊を捕獲し2,300円、解体して同額。一人当たり4,600円しかもらえない危険と隣り合わせの猟友会の報酬を増やせないか。また、



質問 熊を捕獲し2,300円、解体して同額。一人当たり4,600円しかもらえない危険と隣り合わせの猟友会の報酬を増やせないか。また、

□□ □□ (中1)

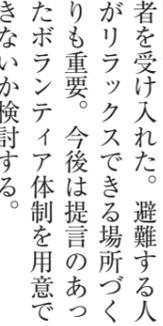
提言 森山キャンプ場は、安全面では仕方ないが利用状況が思ったより少ない。雀館公園でキャンプやブッシュクラフトを楽しめるようにできないか。
答弁 雀館公園は3カ年計画で整備中。周りに民家や公共施設があるため、火気は禁止。そのため、町のキャンプ場である森山キャンプ場、野鳥の森の利用を勧めている。



質問 清掃やボランティア活動を中学・高校と町と一緒に連携した実績は。

□□ □□ (中2)

答弁 2014年の国民文化祭、きやどっこ祭り、馬場目川



質問 町ではどれぐらいイベントを行っているのか。

□□ □□ (小5)

答弁 昨年565人の避難者を受け入れた。避難する人がリラックスできる場所づくりも重要。今後は提言のあったボランティア体制を用意できないか検討する。



質問 町ではどれぐらいイベントを行っているのか。

□□ □□ (小5)

答弁 良いものだから伝統が続いていると思う。町が把握している伝統工芸品はどれだけあるのか。
答弁 現在は、組子細工などが残るのみ。新たに革細工などの商品も生まれている。
提言 朝市通りに伝統工芸の体験や実演をしたり、商品を展示・発信できる場所はできないか。



質問 良いものだから伝統が続いていると思う。町が把握している伝統工芸品はどれだけあるのか。

□□ □□ (小5)

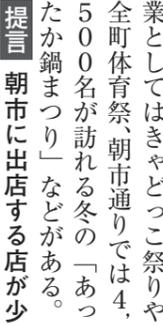
答弁 現在、組子細工などが残るのみ。新たに革細工などの商品も生まれている。
提言 朝市通りに伝統工芸の体験や実演をしたり、商品を展示・発信できる場所はできないか。



質問 五城目町は世界一子どもが育つ町なのに、遊び場が少ない。町の児童館は以前いくつあって、なぜなくなったのか。

□□ □□ (中1)

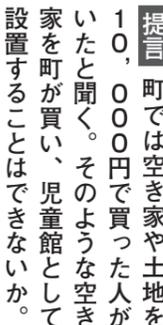
答弁 五城目町には町立児童館が5つあった。少子高齢化で利用者の減少が進み、児童館はなくなっていた。
提言 町では空き家や土地を10,000円で買った人がいたと聞く。そのような空き家を町が買い、児童館として設置することはできないか。
答弁 公共施設として、長い時間持ち堪えられるか。理想となる場所は現実的には少ないと思う。



質問 町ではどれぐらいイベントを行っているのか。

□□ □□ (小6)

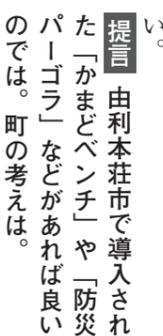
答弁 熊を捕獲し2,300円、解体して同額。一人当たり4,600円しかもらえない危険と隣り合わせの猟友会の報酬を増やせないか。また、



質問 理想的な空き家がな

□□ □□ (小6)

提言 理想的な空き家がな



質問 理想的な空き家がな

□□ □□ (中3)

提言 理想的な空き家がな



質問 遊具で遊びたい。公園はいくつあるのか。

□□ □□ (小6) □□ □□ (小6)

答弁 23公園ある。人口減で使われていない遊具が増えており、撤去も増えている。
提言 温水プールの隣にあった複合遊具のようなものが欲しい。これだけ遊具がないと身体能力が低下する。雀館公園を子どもが遊べる場所にできないか。
答弁 雀館公園の複合遊具は23年経ち、老朽化のため撤去した。子ども計画策定に向けたワークショップを行うのでぜひ意見がほしい。



質問 昨年の水害で避難所に一日いた。遊べないし、子どもでもリラックスできる空間

□□ □□ (小6)

提言 昨年の水害で避難所に一日いた。遊べないし、子どもでもリラックスできる空間



質問 町でも秋の里山ウォークを開催予定。気軽に自然とふれあえる施設もあり、自然ガイド育成の機運の高まりを期待している。

□□ □□ (中3)

答弁 町でも秋の里山ウォークを開催予定。気軽に自然とふれあえる施設もあり、自然ガイド育成の機運の高まりを期待している。



質問 観光客に五城目町の自然を案内してくれる団体や、自然保護活動を行っている団体はあるか。

□□ □□ (中3)

答弁 五城目町には「もっと森山をもりあげ隊」がある。
提言 五城目町の自然の魅力を発信するガイド団体を作れないか。自然イベントも開催すれば、観光客も増えるのでは。

答弁 五城目町には「もっと森山をもりあげ隊」がある。
提言 五城目町の自然の魅力を発信するガイド団体を作れないか。自然イベントも開催すれば、観光客も増えるのでは。

答弁 町では販路拡大のための事業を行っているので、五城目町商店会にもそのアイデアを伝えておく。

質問 熊を捕獲し2,300円、解体して同額。一人当たり4,600円しかもらえない危険と隣り合わせの猟友会の報酬を増やせないか。また、

再質問 理想的な空き家がな

質問 理想的な空き家がな

提言 理想的な空き家がな

答弁 理想的な空き家がな

手厚い待機児童対策を



朝市をお散歩する園児たち

令和6年度もりやまこども園待機児童対策事業補助金が追加計上された。

令和7年度から11年度までの5年間。一年あたり500万円を限度額として2500万円を補助するもの。

「年度途中に入園する乳幼児をスムーズに受け入れ出来るように、少子化で財源が厳しい中でも、年度初めから職員を採用し人員確保をする必要がある、待機児童を出さないための対策」との説明があった。

委員からは「町営ではなく社会福祉法人ではあるものの、町唯一のこども園であり重要な施設である。この5年のうちに本園・大川分園共に修繕などの費用もかかってくる。耐用年数や今後の場所も含め、議論していく必要があるのではないか」と指摘があった。

がん治療に伴い、医療用補正具（ウィッグ（かつら）又は乳房補正具）を使用する方に対して、購入費用の一部を助成している。がん治療と就労や社会参画の両立、購入に伴う経済負担の軽減を図ることが目的。上限額は、ウィッグが35,000円、乳房補正具20,000円である。

委員からの「必要な方にこの情報はどうか共有されているのか」との問

がん治療にサポート

いに「病院からの案内や町のホームページでお知らせしている」と答弁があった。

（佐沢由佳子）

教育民生 常任委員会

令和6年度もりやまこども園待機児童対策事業補助金が追加計上された。

令和7年度から11年度までの5年間。一年あたり500万円を限度額として2500万円を補助するもの。

「年度途中に入園する乳幼児をスムーズに受け入れ出来るように、少子化で財源が厳しい中でも、年度初めから職員を採用し人員確保をする必要がある、待機児童を出さないための対策」との説明があった。

委員からは「町営ではなく社会福祉法人ではあるものの、町唯一のこども園であり重要な施設である。この5年のうちに本園・大川分園共に修繕などの費用もかかってくる。耐用年数や今後の場所も含め、議論していく必要があるのではないか」と指摘があった。



矢田津世子没後80年

矢田津世子を後世に伝える

矢田津世子没後80年事業として、印刷製本代・業務処理委託費を計上。

矢田津世子の未発表作品の中に童話『かしこいメダカの兄弟』があっ

た。この童話をもとに絵本10冊、紙芝居を10部製作する。

委員から「この絵本を製作することにより、どのような効果が得られるか」と質疑があり、「完成後は、こども園、学童施設、小学校、中学校、わいわい、お話会などで、読書や読み聞かせの教材として広く活用することにより、五城目町の偉人の文学を後世に伝える。町内の業者に依頼することを検討している」と答弁があった。

五城目全域が戸口運行 利用料金一律300円に



移動の足となる乗合タクシー

現行の町乗合タクシーの運行区域3路線に五城目地区を加え五城目全域とし、利用料金を一律300円に改正する条例が今定例会に上程された。

委員から「1日何回運行しているか。また、何人利用しているか」の質疑に、当局から「3路線あり、1路線1日5回運行している。令和5年度において馬場目線2、529人 富津内線1、208人 内川線1、924人が利用している」

また、委員から「委託料はどうか」の質疑に「令和5年度で馬場目線約600万円、富津内線438万円、内川線で475万円となっている」と答弁があった。

委員から「運行地域が全町となる本町部の移動の足が課題であったが、これで進展する」との意見が出された。

廣徳寺橋橋梁復旧工事（橋台撤去、新設工事）は、令和7年3月31日までの工期で進められている。委員から「上部工の工事入札はいつ頃か」の質疑に「令和7年1月頃を予定している」と答弁があった。



（石川 重光）

橋台新設工事が進む現場

総務産業 常任委員会

職員定数を2人減の159人に改正

第7次行政改革推進プログラムに基づき、職員定数を改正する条例が今定例会に上程された。これは職員定数を161人から159人に、内町長部局は95人から94人に、教育委員会15人から14人に、農業委員会3人から2人に、消防部局33人から34人に改め、令和7年4月より施行される。

委員から「消防部局の34人は必要数か。以前、湖東消防と統合の話があった時、職員数が29人と多いことが統合反対の理由のひとつであった。34名まで枠を広くしているのか」

との質疑に、当局から「消防庁の指針と町の現状によれば40数名位になる」と答弁があった。

課室の統廃合については、税務課と出納室を統合し、税務会計課に改称し、令和7年4月よりスタートする。

委員から「会計管理者と税務課長の兼務となれば、二重の業務を一人で担うという状況になるのでは」との質疑に、当局から「負担が増える分だけ他の職員を配置し、負担を分担する」と答弁があった。

需給調整米について



あなたにかわって
聞きました

一般質問

町長 地区の実情に沿った設定を検討

伊藤 令和6年度の需給調整米の出荷数量について伺いたい。転作率は44・3%基準単収は10aにつき567kg。町部・大川地区の出荷数は高いが富津内・内川・馬場目地区の山間部は10aにつき420〜450kgが平均である。町として山間部の出荷数量を見極め、みんなが協力しやすくなる数量にすべき。

町長 基準単収についての状況は把握している。令和5年9月に町農業再生協議会で3ha以上作付けしている農業者に、数量のアンケート調査を実施。意見を集約し、地区別の基準単収を設定できるように進めているところである。地区別の単収を設定している市町村はなく、地区の設定方法・実情に沿った設定の検討



いとう のぶこ
伊藤 信子

一般質問動画はQRコードから

伊藤 研修を受けた後、研修に時間を要している状況である。

町長 町単独で接遇研修は行っていない。ただし、秋田県の自治研修所で実施している新規採用職員研修のメニューの中で、電話対応・接客対応などの接遇研修を実施している。また、第7次行政改革推進プログラムに記載していることから、職員集合研修の選択肢のひとつとして実施していく。



令和6年度産米の収穫

伊藤 町では、毎年接遇研修を行っているようだが、どのような内容で行っているのか。

町長 町単独で接遇研修は行ってない。ただし、秋田県の自治研修所で実施している新規採用職員研修のメニューの中で、電話対応・接客対応などの接遇研修を実施している。また、第7次行政改革推進プログラムに記載していることから、職員集合研修の選択肢のひとつとして実施していく。

五城目町婦人団体連絡協議会の活動は

伊藤 婦人団体連絡協議会は数十年前に発足したと思われるが、その時は何を目的として、どのような団体で、どんな活動をしていたのか。

教育長 婦団協の会則によると昭和61年6月から施行。加入団体は五城目町婦人会、JAあきた湖東女性部、湖東3町商工会女性部、五城目町農村生活研究グループ連絡会、五城目厚生保護女性会で構成され、視察研修を通して情報共有、親睦を深めてきた。



婦団協の視察研修

教育長 今までの会の活動内容については、婦団協の主体的な判断のもと実施されていると認識している。町としては、今後とも婦団協の主体的な活動を尊重し、必要に応じて支援していく。

一般質問

10議員が登壇

我が町政を問う

一般質問とは？

- ・年4回の定例会において、議員が町政全般について現状や方針を問うものです。
- ・答弁を含む一人当たりの持ち時間は60分で、事前通告制が採用されています。
- ・質問をするかしないかは、議員個人の判断によります。

質問者

伊藤 信子 議員

- 需給調整米について
- 接遇研修について
- 五城目町婦人団体連絡協議会について

中村 司 議員

- 財政の現状と課題
- 公共施設等総合管理計画について
- 県道八郎潟線、雀館線沿い樹木（樺）の落葉について

佐沢由佳子 議員

- ウォームシェアについて
- コンポストや生ゴミ処理機の助成について
- こども計画ワークショップ「ごじょうめしゃべり場」について
- 渡邊町長町政のふりかえり

石川 重光 議員

- 多様な朝市出店の形態の紹介で関心を高める
- 全国朝市サミット開催に向けた取り組みは
- 朝市課（仮称）や朝市プロジェクトチームの設置が必要
- 町長5期目の任期満了を間近にして4年間の実績について

松浦 真 議員

- ICT教育の推進状況は
- 矢田津世子没後80年事業の成果は
- 町内の公共施設や指定管理事業者の状態確認は
- こども計画のアンケート結果の公表を
- こども議会の内容の反映を
- 職員採用数の現状は
- 農業基盤整備事業にともなう相続の円滑化・条件緩和は

工藤 政彦 議員

- 子供の遊び場の確保について
- 立地適性化計画の策定状況について
- 水道料金の改定時期について

荒川 滋 議員

- 産業振興について
- 行政全般について
- 湖東の砦、五城目高校の存続のために
- これまで町を支えてくださった高齢者の方々のために
- 災害に強い町になるために
- 宝である子供たちに愛される（愛郷心を持ってもらえる）町になるためには

椎名 志保 議員

- 農業が継承されていくために
- 健康福祉課の現状に部署新設は適切か
- 目指す消防の姿は
- 田町杉ヶ崎地区、水害対策のその後は

斎藤 晋 議員

- 朝市について
- シルバー人材センターについて
- 樺並木の枯葉の始末について
- 馬場目川の再生と川に住む生き物の再生について

小玉 正範 議員

- 昨年の水害関連
- 役場の未来像
- 住環境整備
- 林業を基にした産業の活性化

* 誌面の関係上掲載できなかった●印の質問については、町ホームページにて議会映像を配信しておりますのでそちらをご覧ください。



五城目町議会映像配信中 www.gojome-town.stream.jfit.co.jp

(中村 司)

一般質問

「年収の壁」見直しの影響は

税務課長 1.1億円税込減と試算 (基礎控除額を178万円とした場合)



なかむら つかさ
中村 司

一般質問動画はQRコードから

財政の現状と課題

中村 当町人口ビジョンによると、2025年には老年人口が生産年齢人口を上回り、さらに人口減少となる。歳入は町税や地方交付税などが減少、歳出は国保・介護保険など特別会計への繰入金割合が増加、上下水道への補助金支出に加えて、内水浸水対策としてインフラ整備を控えており、厳しい財政運営が続く。財政の健全化と未来への投資のバランスをどうとるか。

町長 喫緊の課題解決に大きな財政負担が見込まれ、各種財政指標の改善が困難な状況にある。これまで小学校改築、火葬場改修など大規模事業を実施してきた。今後も計画的にバランスを図り配分するこ

とで、各種財政指標を管理し、町民の安全・安心を最優先に取り組み。

年収103万円の壁と影響は

中村 国会では「年収の壁103万円」問題が議論されている。住民税の基礎控除額を75万円引上げた場合、当町の住民税はいくら減少するか。
税務課長 県の計算方法に基づく試算によれば、当町の個人住民税は1億1千万円の減収になる見込である。

減価償却率81.7%の現状認識は

中村 建築施設の減価償却率が類似団体ワーストワンであり、施設の老朽化が著しいことを意味する。多くの施設が1975年から2000年にかけて建築が集中したことが原因である。今後どのように対応するか。

町長 維持管理費などの費用対効果からみても、改善が必要と考える。住民の安全・安心に鑑み、事業実施の優先度を見極め、公共施設等総合管理計画を推進する。



老朽化が著しい昭辰橋

橋梁44橋が建設年度不明

中村 当町が保有、管理する橋梁が115橋。内44橋が建設年度不明とあるが、事実か。44橋を特定し、安全性を確認しているか。今後の対応は。

町長 橋梁台帳を整備した際、資料がなく、建設年度不明な橋梁が44橋あることが判明した。その橋を特定し、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、平成26年度から5年に一度点検し、健全度の低い橋は補修し、維持管理に努めている。

施設10%削減目標はいかに

中村 町公共施設等総合管理計画で、平成29年度から令和



堆積する落葉

8年度までに施設保有量10%減を目指すといったが、実績は。
総務課長 計画終了まで後2年であるが、現在の実績は0.3%減と目標に遠く及ばない状況。ここ数年の豪雨災害から見送っていた施設の解体もあり、新年度予算で対応していきたい。

中央線樫の落葉処理は

中村 沿線の住民の高齢化が進み、落葉処理が負担となっている。吸引機を導入、青空号やシルバー人材センターへ委託出来ないか。

町長 現在、落葉の回収については、沿線住民の協力、シルバー人材センターのボランティアや青空号により実施している。町が落葉回収を業務として依頼することは難しい。

一般質問

ウォームシェア推進を

町長 場所や機会を増やすべきと考える



さざわ ゆか こ
佐沢由佳子

一般質問動画はQRコードから

佐沢 暑い時期は、クーリングシェルターとして公民館や地域の商業施設などに協力いただいた。寒い時期は、出歩くことも少なく、家にこもりがちになる。暖房をつけ一日を過ごす人も多くなる。経済面やCO₂削減の観点から、公民館を開放し、一つの場所に集まるウォームシェアを推進すべき。開放する場所を示すだけでなく、公民館などで、小さなイベントや人が集まるきっかけを積極的に作って欲しい。居場所作りをする団体などに助成を検討してはどうか。

町長 各家庭・近所・商業施設の利用など、身近なところから出来る取り組み事例をホームページに掲載することにより推進していきたい。公



人が集まるにこここ商店

共施設については、エネルギー消費節減やコミュニケーションの促進を目的として、誰でも無料でウォームシェア出来る場所や機会を増やすべきと考えている。助成制度は検討していない。居場所作りの観点で具体的に企画検討している場合は、相談してほしい。

しゃべり場の定期開催を

佐沢 こども計画策定のため、11月に子どもと子育て世代対象にワークショップ「こじょうめしゃべり場」が開催された。五城目町の良いところや、子育て環境や生活の中



こじょうめしゃべり場

生ごみ処理機購入に助成を

佐沢 こみ処理の広域化が議論されている。今後、運搬経

で無視できない課題や問題点など、若い世代の声を聞く良い機会になった。年に数回定期開催してはどうか。
町長 防災や農地、子ども施策、総合発展計画など多様なテーマで、対象となる方々や地域に向けて意見を聞く機会を設けてきた。ワークショップの定期開催も含め、様々な方法で意見公募をすべきと考えている。



生ごみは資源

町長 以前、コンポストや電気式の生ごみ処理機の購入助成を行っていたが、一定の成果があったことから現在は行っていない。広域化にあたり、更なるごみの減量や分別に協力いただけるよう広報で知らせ、啓発に努める。

子ども議会の今後は

教育長 高校生まで拡充する



町は子どもの声を聞くべき

松浦 子ども議会は議場内に入り切れないほどの町民が傍聴。小中学生の素直な意見が素晴らしかった。一方で、子どもの素直で真摯な質問に対する当局の答弁に、論点がズレていると感じた子どももいた。子どもの声を真摯に聞く町の姿勢は。

松浦 教育の魅力を上げていくことは五城目町でも重要だ。小学校の見学者は今年度何名か。また、103万円の壁をなくすことで、当町の税収が1億1千万円減収となる試算もある。その減収分を埋めるために視察料を設定することを来年度予算に積極的に組み込めないか。

学校見学を有償に

松浦 教育の魅力を上げていくことは五城目町でも重要だ。小学校の見学者は今年度何名か。また、103万円の壁をなくすことで、当町の税収が1億1千万円減収となる試算もある。その減収分を埋めるために視察料を設定することを来年度予算に積極的に組み込めないか。



農地相続の緩和を

松浦 基盤整備事業の認定を受けるために、農地相続の規制緩和がなければ、分筆されている農地を農家が費用と時間をかけて対応するのは難しい。農林振興課は「税務課に相談を」と回答していたが、空き家問題ともつながる本課題は、極めてオール行政で取

農業基盤整備事業の農地相続は

松浦 基盤整備事業の認定を受けるために、農地相続の規制緩和がなければ、分筆されている農地を農家が費用と時間をかけて対応するのは難しい。農林振興課は「税務課に相談を」と回答していたが、空き家問題ともつながる本課題は、極めてオール行政で取

副町長 手続きが進捗しないと基盤整備事業の未来に対して本当に影響がある。国そして県に働きかけ、前に進めていきたい。当町としても地域振興局を通じて改めて相談をしていく。

あなたにかわって 聞きました 一般質問



まつうら まこと 松浦 真

一般質問動画はQRコードから

教育長 初めて議場で一問一答形式で行った。実施後の児童生徒の感想では、「前向きな答弁をもらいたかった」と感じた生徒もいた。一方、「自分の意見を発表してみることが大切だと感じた」「町と関わり、深く考えていきたいと思った」「子どもの意見も町の政治に取り入れられることが分かった」などの感想があり、概ね目的を達成できた。子どもたちの意見の一部でも「形になった」ということが実感できるように、予算や人的なサポートも含めて、子どもたちが五城目町の課題に向き合い、さらに行政に大きな関心を持つことができるよう、創意工夫していく。

学校教育課長 視察参加者は今年度11月末日までで43団体、約260名。
松浦 視察料を一人5,000円にすれば、130万円になる。前向きに検討を。

り組むべき課題。本案のような相続条件の規制緩和は町が条例変更をすることで取り組めるのか。
町長 現在、基盤整備事業の要望をしている4地区において、土地調査により相続未登記土地が多数あり、相続が難航している。相続条件の規制緩和は、条例などの取り組みにも対応できないものと認識。改めて町としても、手続きに必要な司法書士会などの情報を広く周知していく。

積極的にPRし、 関心を高めるべき

町長 広報やホームページで一層発信



寒さ厳しい冬の朝市

町長 第7次行政改革推進プログラムにある組織・機構の見直しにおいて、「朝市課」を設置する考えには至っていない。朝市振興委員会からの意見や庁内プロジェクトチームの立ち上げによる課題解決を検討している。また、地域

朝市課の設置を

石川 朝市課（仮称）や朝市プロジェクトチームの設置が必要。

と朝市を結びつける役割として、地域おこし協力隊や集落支援員など、専門的に携わる人員配置を検討している。

政策の成果は

石川 町長5期目の任期満了を間近にし、4年間の実績について、公約として掲げた「雇用創出」「少子化対策」「移住定住促進」「地域づくり」の政策の成果をどう捉えているか。
町長 「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、各種事業を実施してきた。コロナ禍や大雨災害など、様々な課題に直面しながらも「ひとが輝き、まちが輝き、そして未来が輝く五城目」の実現に向け、オール五城目で確実に成果をあげることが出来た。

あなたにかわって 聞きました 一般質問



いしかわ しげみつ 石川 重光

一般質問動画はQRコードから

石川 町が多様な朝市出店の形態を広告や広報で積極的に紹介することで、関心を高めるべき。

町長 本年度の通常朝市への新規出店者は3件あり、内1件は多様な方々で構成されたグループ出店であった。新たな出店者の情報などを広報やホームページを通じてなお一層発信していく。
全国朝市サミット開催準備は
町長 朝市振興委員会では、来年度の「きのこまつり」に併せて、全国朝市サミットを



開催する計画。また、産業文化祭実行委員会において合同開催を検討している。全国朝市サミットを契機に朝市のPRを進め、出店者増や街の賑わい創出に繋げていきたい。

五高存続のため 積極的な働きかけを

町長 県の動向を注視し
情報収集に努める

町長 来年度策定の県高等学校総合整備計画の素案では、地域の関係者や当該校と協議



【湖東の砦】五高を守るぞ

荒川 【湖東の砦】五城目高校存続の参考に、広島県立加計高校の先進事例を挙げたことがあった。県への積極的な働きかけや協議会立ち上げなど、町として尽力できることがあるはずだ。

あなたにかわって 聞きました 一般質問



あらかわ 荒川 しいげる 滋
一般質問動画はQRコードから

町長 農地の集約化、耕作放棄地解消を図っており、担い手の集団化や法人化を推進している。枝豆やキャベツ以外の新たな高収益作物の開発を



持続可能で儲かる農業へ

町長 基幹産業である農業が持続できるよう担い手確保、農地集約化、高収益農産物など経営の多角化、儲かる農業の取り組みの現状は。



高齢者を意識した除雪に変わろう

人に優しい除雪に 進化せよ

町長 農地の集約化、耕作放棄地解消を図っており、担い手の集団化や法人化を推進している。枝豆やキャベツ以外の新たな高収益作物の開発を

町長 県へLINEのサービスを提供している事業者に見積提出を依頼中だ。有効な情報発信手段であるため、役場内で勉強会を開催し、導入を検討する。

町公式LINE 立ち上げを

荒川 行政を身近に感じたい。ただため様々な情報が届く町公式LINE立ち上げが必要と提言してきたが、現状は。

町長 現在プロジェクト参加は予定していないが、森林環境譲与税の活用は可能と考え、居場所の創出、遊び場の整備を含めて、実施に向けて取り組みたい。

子どもに愛される 町になるためには

町長 業者との除雪対策打ち合わせ会で、雪の塊を建物の間口に極力残さないよう業者に指示をしているが、積雪と気温により、残ってしまう事はある。高齢者世帯は健康福祉課を窓口とするシルバー人材センターが行う間口除雪を利用いただきたい。

町長 業者との除雪対策打ち合わせ会で、雪の塊を建物の間口に極力残さないよう業者に指示をしているが、積雪と気温により、残ってしまう事はある。高齢者世帯は健康福祉課を窓口とするシルバー人材センターが行う間口除雪を利用いただきたい。

雀館公園を 子どもの遊び場に

町長 子どもも大人も心地よい
居場所を目指す



身体を動かして健康に

町長 令和2年6月定例会の私の一般質問で、五城目小学校が完成すれば雀館公園一帯が町のメインになる。町のシンボル森山が望める雀館公園の駐車場側斜面と、接続して

あなたにかわって 聞きました 一般質問



くどう まさひこ 工藤 政彦
一般質問動画はQRコードから

町長 秋田県内で立地適正化計画の今後の策定予定市町村に五城目町があった。今後のまちづくりの大きな課題は、人口の急激な減少と高齢化を背景として、高齢者や子育て世代にとって安心できる健康で快適な持続可能な都市経営をすることだ。医療・福祉施設、商業施設や住

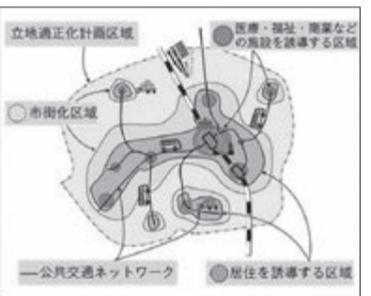
本町部外の地域にも も思いやりを

町長 秋田県内で立地適正化計画の今後の策定予定市町村に五城目町があった。今後のまちづくりの大きな課題は、人口の急激な減少と高齢化を背景として、高齢者や子育て世代にとって安心できる健康で快適な持続可能な都市経営をすることだ。医療・福祉施設、商業施設や住

町長 秋田県内で立地適正化計画の今後の策定予定市町村に五城目町があった。今後のまちづくりの大きな課題は、人口の急激な減少と高齢化を背景として、高齢者や子育て世代にとって安心できる健康で快適な持続可能な都市経営をすることだ。医療・福祉施設、商業施設や住

町長 秋田県内で立地適正化計画の今後の策定予定市町村に五城目町があった。今後のまちづくりの大きな課題は、人口の急激な減少と高齢化を背景として、高齢者や子育て世代にとって安心できる健康で快適な持続可能な都市経営をすることだ。医療・福祉施設、商業施設や住

町長 秋田県内で立地適正化計画の今後の策定予定市町村に五城目町があった。今後のまちづくりの大きな課題は、人口の急激な減少と高齢化を背景として、高齢者や子育て世代にとって安心できる健康で快適な持続可能な都市経営をすることだ。医療・福祉施設、商業施設や住



立地適正化計画のイメージ図

町長 秋田県内で立地適正化計画の今後の策定予定市町村に五城目町があった。今後のまちづくりの大きな課題は、人口の急激な減少と高齢化を背景として、高齢者や子育て世代にとって安心できる健康で快適な持続可能な都市経営をすることだ。医療・福祉施設、商業施設や住

町長 秋田県内で立地適正化計画の今後の策定予定市町村に五城目町があった。今後のまちづくりの大きな課題は、人口の急激な減少と高齢化を背景として、高齢者や子育て世代にとって安心できる健康で快適な持続可能な都市経営をすることだ。医療・福祉施設、商業施設や住

町長 秋田県内で立地適正化計画の今後の策定予定市町村に五城目町があった。今後のまちづくりの大きな課題は、人口の急激な減少と高齢化を背景として、高齢者や子育て世代にとって安心できる健康で快適な持続可能な都市経営をすることだ。医療・福祉施設、商業施設や住

将来を見据えた水 道料金の改定を

町長 秋田県内で立地適正化計画の今後の策定予定市町村に五城目町があった。今後のまちづくりの大きな課題は、人口の急激な減少と高齢化を背景として、高齢者や子育て世代にとって安心できる健康で快適な持続可能な都市経営をすることだ。医療・福祉施設、商業施設や住

町長 秋田県内で立地適正化計画の今後の策定予定市町村に五城目町があった。今後のまちづくりの大きな課題は、人口の急激な減少と高齢化を背景として、高齢者や子育て世代にとって安心できる健康で快適な持続可能な都市経営をすることだ。医療・福祉施設、商業施設や住

町長 秋田県内で立地適正化計画の今後の策定予定市町村に五城目町があった。今後のまちづくりの大きな課題は、人口の急激な減少と高齢化を背景として、高齢者や子育て世代にとって安心できる健康で快適な持続可能な都市経営をすることだ。医療・福祉施設、商業施設や住

シルバー人材の 補助金を増額すべき

町長 増額を含めた支援を協議する



ボランティアで落ち葉の清掃

齋藤 高齢者の生きがい・やりがいを求め、労働の対価を得るために一生懸命働く場を作るシルバー人材センターは、無くてはならない組織である。孫に小遣いを渡す爺さんばあさんの顔を想像するだけで、顔がほころぶ。この組織を存続させるために、補助金を増額すべき。



寂しい朝市

齋藤 出店幅で出店料を取っているが、出店者が少なくなっている現在、出店料をタダにするべきではないか。

町長 朝市推進費として町の予算を支出している以上、受益者負担の観点から、使用料を無料にする考えには至らない。

町長 9月定例会で答弁の不足があった。2年連続で水害が発生した馬場目川流域の整備計画について、県と話し合いがもたれた。

3月28日、馬場目圏域河川整備計画第一回検討委員会において、環境や動植物への影響に配慮した計画にするよう要望書を提出している。

6月26日、2回目の検討会では1回目の意見が反映され、県では植生や景観に配慮した河川整備を行うことを確認。2つの配慮事項として「動植物の生息・生育環境への配慮」と「河川利用への配慮」が追記された。私からは「自然環境や景観を損ねたり、農業などの事業に支障が出ない

- その他に
- 朝市出店数を増やす効果が出る方策は
 - 朝市出店料合計は年間幾ら集まる
 - 朝市出店料は間口で違うが幾らか
 - 朝市優良出店者報奨金の値上げをすべき
 - シルバー人材センターにとって、インボイス制度・フリーランス法の影響は
 - 樺並木の落ち葉は町が責任を持つべき
- などを質問した。

あなたにかわって 聞きました 一般質問



すすむ 齋藤

一般質問動画はQRコードから

町長 現在、センターの会員数は116名となっております。町の委託作業の他、農作業や庭木の剪定など様々であり、高齢化が進む当町で、元気な高齢者の活躍の場として、無くてはならない組織である。今後も維持可能な組織であるために、国の法律・制度の改正に伴うものも含め、補助金の増額を含めた必要な支援について協議する。

町長 朝市推進費として町の予算を支出している以上、受益者負担の観点から、使用料を無料にする考えには至らない。

町長 9月定例会において、町民の要望を県に要望していないとの回答だったが、その後どうなった。

町長 朝市推進費として町の予算を支出している以上、受益者負担の観点から、使用料を無料にする考えには至らない。

町長 9月定例会において、町民の要望を県に要望していないとの回答だったが、その後どうなった。

町の農業を永続的なものに

町長 JAと強い連携をとっていく

あなたにかわって 聞きました 一般質問



しいな 志保 椎名

一般質問動画はQRコードから

椎名 地域での話し合い後、農業の将来のあり方を示す「地域計画」、今後の農地の姿となる「目標地図」を農業委員・農地最適化推進委員をどう活用し、進めていくのか。

町長 話し合いでの意見をもとに案を作成し、令和7年1月予定の2回目の話し合いで確認していただき、年度末までに策定する。策定後も農業委員・農地最適化推進委員を中心に話し合いを継続し、ブラッシュアップしていく。

椎名 各地域での基盤整備事業へ向けた進捗状況は。

町長 高岳地区は令和元年度より着手しており、高崎、舘越地区は令和8年度、事業採択に向け調査中。富田、大川地区は土地調査を行っている。

椎名 相続登記がなされていない農地が多く、農家はとりまじめに苦慮している。町か

ら通知し手続きを促すなど、力添える方法はないか。

町長 司法書士会などの情報を周知していく。

椎名 基盤整備事業の条件に稲作以外の作物への取り組みが必要とされ、それが何であるか苦慮している。JAと連携し、ふさわしい作物を模索できないか。

町長 枝豆やキャベツだけでなく、新たな高収益作物の開発をJAと連携すべきだが、地域の土壌に合った作物の検討が課題だ。

椎名 農業者との話し合いはもちろんだが、コロナ前の各地区での町政座談会を再開し、町政への意見を求めるべきだ。

町長 地区座談会の開催を含め、様々な方法で意見公募すべきと考えている。



基盤整備事業が進む高岳地区



全町くまなく守り安心安全な暮らしを

町長 朝市推進費として町の予算を支出している以上、受益者負担の観点から、使用料を無料にする考えには至らない。

町長 9月定例会で答弁の不足があった。2年連続で水害が発生した馬場目川流域の整備計画について、県と話し合いがもたれた。

町長 朝市推進費として町の予算を支出している以上、受益者負担の観点から、使用料を無料にする考えには至らない。

町長 9月定例会において、町民の要望を県に要望していないとの回答だったが、その後どうなった。

町長 朝市推進費として町の予算を支出している以上、受益者負担の観点から、使用料を無料にする考えには至らない。

町長 9月定例会において、町民の要望を県に要望していないとの回答だったが、その後どうなった。

町長 朝市推進費として町の予算を支出している以上、受益者負担の観点から、使用料を無料にする考えには至らない。

町長 9月定例会において、町民の要望を県に要望していないとの回答だったが、その後どうなった。



こだままさのり
小玉正範
(公明党)

一般質問動画はQRコードから

山を活用した産業を

町長 自伐型林業の育成に着手

町有林構想について

小玉 私有林を町が買い上げ、町有林にすることで、柔軟な活用の仕方を実施し、伐採植林、山菜の栽培、散策路の整備など、新たな町の産業を創り出せないか。

町長 森林贈与税を活用して放棄私有林を購入している自治体があるが、本町では手入れされていない森林の整備に使用しており、私有林の購入予定はない。山林所有者の取りまとめや施業箇所の集約、林業専用道の整備に注力し、山林所有者や森林組合を支援している。森山散策路を体系的に見直して整備し、健康増進にも寄与できる場所にしていきたい。

また、人材の育成、担い手確保の点から、刈払機とチェーンソーの講習会の実施

を検討中。
これをきっかけに林業でのアルバイト、林内作業の下請けなどのステップアップで、里山の整備ができる自伐型林業に近い形態の育成に着手する。



伐採後の山林整備 (国有林)

R5水害発生経緯公式見解は

小玉 昨年7月に起きた水害について、水害発生経緯(内水氾濫・河川氾濫・住宅地浸水など)を町の公式見解として公表する予定は。

町長 町ではワークシヨップで提供された情報を基に浸水要因分析を行い、水道事業及び下水道事業経営等審議会にて説明を行っている。この資料はホームページなどにより公表する予定。

小玉 ホームページで公表するだけではなく、町民に直接語りかけるような場を設けるべき。

町長 街灯の維持管理費用が多額であり、新設には慎重な検討を要する。必要な箇所への移設は可能である。

小玉 今後、町民や職員にとって、どんな雰囲気役場を目指すのか。

町長 将来的には窓口業務を一本化する総合窓口を設置するなど、住民の皆様が寄り添ったサービスを継続できる体制を構築していく。

小玉 今後、町の人口減少が進み、役場職員の数も減ることを考えると、これまでの慣習にとらわれない職員の働き方が求められる。職員一人一人が最大限に活躍できるように年齢や性別にとらわれず、皆が対等に積極的にアイデアを出し合い、話し合っ課題を解決していく環境が大事だ。職員が毎日明るく意欲的に働く姿が見られれば、我々町民は安心だ。

街灯設置について

小玉 この季節は夕方町内を歩いても暗く、危険である。街灯を増やせないか。



夕方の町内道路

陳情と意見書

12月定例会会で採択となった陳情を意見書を添えて関係機関に送付しました。

採 択
◆安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善について国に意見書提出を求める陳情

陳情者
秋田県医療労働組合連合会
執行委員長 奥井 明子

採 択
◆政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増のため国に意見書提出を求める陳情

陳情者
秋田県医療労働組合連合会
執行委員長 奥井 明子

採 択
◆健康保険証廃止の中止について国に意見書提出を求める陳情

陳情者
秋田県医療労働組合連合会
執行委員長 奥井 明子

採 択
◆「介護保険制度の抜本改善、介護従事者の処遇改善を求める」国への意見書提出を求める陳情書

陳情者
秋田県社会保険推進協議会
会長 佐藤 幸美

採 択
◆「小・中学校給食費の無償化」を国の制度として実施を求める意見書提出の陳情

陳情者
秋田県社会保険推進協議会
会長 佐藤 幸美

採 択
◆「18歳までの医療費窓口負担の無料化」を国の制度として実施を求める意見書提出の陳情

陳情者
秋田県社会保険推進協議会
会長 佐藤 幸美

採 択
◆国民の命を守るために早急に日米地位協定の抜本的改定を求める意見書の提出についての陳情

陳情者
沖繩に应答する会
代表 漆山ひとみ

継続審査
◆地方自治を無視する国に沖繩との対話を求める意見書の提出に関する陳情

陳情者
沖繩に应答する会@あきた
代表 兵藤 知子

議員研修報告

読まれる議会広報紙の作り方

研修名
全国町村議会広報研修会
研修日
9月25日
研修先
ニッショーホール(東京都港区)

参加議員
一期目議員5名

課題共有、情報交換し、相互交流を深める

研修名
南秋田郡町村議会議員大会
研修日
10月21日
研修先
八郎潟町農村環境改善センター

参加議員
14名

住民の命と生活を守るため

研修名
市町村議会議員研修「防災と議員の役割」

研修日
10月31日～11月1日
研修先
全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市)

参加議員
椎名 志保

地域住民の期待と信頼に応えるために

研修名
市町村議会議員研修「新人議員のための地方自治の基本」
研修日
11月18日～11月20日
研修先
全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市)

参加議員
一期目議員4名



充実した研修施設

(椎名 志保)

あれ

なんと変わったべが!

令和5年12月定例会一般質問より



第3回臨時会

令和6年10月17日



業者による排土作業

○工事請負変更(第2回) 契約の締結について
令和6年度(令和5年 災)21-87号滝ノ沢(6) 地区農地災害復旧工事
排土量の実績数量が確定し、本工事の変更契約を締結するものであり、全会一致で可決した。

第5回 議会議員 全員協議会

令和6年10月17日

報告案件

「五城目町第7次行政改革推進プログラム」素案について

1. 行政改革の目的

社会情勢や住民ニーズの変化などを反映し、専門部署を設けるなど災害対応や行政運営の効率性、住民サービスの向上を図ることで「ひとが輝き、まちが輝き、そして未来が輝く五城目」の実現を目指すことを目的とする。

2. 計画期間

令和7年度から令和11年度までの5年間

3. 素案(大項目)

- (1) 「新たな行政システムの構築」に関する改革
- (2) 「健全な財政基盤を確立できる財政システムの構築」に関する改革
- (3) 「効率的な行政運営を目標とした民間活力導入システムの構築」に関する改革
- (4) 「町民の満足度を重視した行政評価システムの構築」に関する改革

第6回 議会議員 全員協議会

令和6年11月15日

協議案件

五城目町第7次行政改革推進プログラム(案)について

(行政改革の基本方針、実施事項)

1. 「新たな行政システムの構築」に関する改革

- 2. 「健全な財政基盤を確立できる財政システムの構築」に関する改革
- 3. 「効率的な行政運営を目標とした民間活力導入システムの構築」に関する改革
- 4. 「町民の満足度を重視した行政評価システムの構築」に関する改革

5. 五城目町「予約式乗合タクシー」運行内容の見直しについて

- 全町民を対象とした戸口運行
- 五城目エリア内での拠点間移動可能
- 利用料金は、1人1乗車300円に統一

下水道事業における内水浸水対策について

(浸水対策の基本方針)

- ①段階的・重点的な整備目標の検討
- ②排除計画の検討
- ③浸水被害の最小化に向けた対策の検討

もりやまこども園への財政支援について

- ①子育て応援補助金(仮称・新規)
- ②特別支援保育事業補助金の拡充
- ③施設・備品等整備補助金(新規・R8以降)

報告案件

- (1) 五城目町こども計画策定の進捗状況について
- (2) 五城目町地域防災計画の改訂について
- (3) ごみ処理広域化について(中間報告)
- (4) 五城目町地域計画策定の進捗状況について
- (5) 五城目町育英資金貸付業務において不適切な事務処理があったことに関する内部調査結果報告について

ご冥福をお祈りいたします

9年にわたり議会事務局員としてご勤務された畑澤真紀子様が、12月2日、ご逝去されました。これまでのご労苦に深く感謝し、心よりご冥福をお祈りいたします。

議員辞職

令和6年12月16日付で荒川滋議員から議員辞職願が提出され、地方自治法126条により、同日付で辞職を許可した。

(椎名 志保)

学校菜園での活動に児童たちはどのような感想を持ったのか。今後、どう取り組んでいくのか。

1年前の答弁 児童からは、「初めての体験でワクワクした」「朝市販売ではお客さんとのやりとりが楽しかった」などの感想があった。今後、体験活動により、問題解決や探求活動に主体的・創造的・協働的に取り組む教育の場としての活用を図っていく。



土に親しむ子どもたち

問 R5は町で95頭のクマが捕獲される異常な年であった。捕獲用箱わなを増やすべきではないか。

1年前の答弁 今年度一基追加し6基となった。さらに増やすべきではあるが、管理負担が大きく猟友会と慎重に協議を進めていく。
現在 箱わなの見回りの負担が大きかったことから増やさなかったが、箱わな捕獲通知システムを導入したことで見回りの負担が軽減され、猟友会と協議し、箱わなの追加を検討していきたい。

問 高齢者対象の調査で、健康だと感じている割合が高い一方で、幸福だと感じている割合が県内市町村下から2番目の低さであった。この結果をどうとらえているか。

1年前の答弁 幸福の感じ方は人生観や価値観によって異なるが、社会とのつながりにより、主観的幸福感の低下を防ぎ、介護予防につながる前向きな行動がとりやすくなることを考える。主観的幸福感と健康感を第9期の最終指標と設定し、各施策、事業に取り組みしていく。

現在 各地域のサロン活動や個別訪問で、前向きな行動がとれるよう地域のつながりを図っている。災害発生時の迅速な避難行動が困難と思われる対象者に対する個別避難計画書作成を通して、安全・安心につなげることができると考えている。

問 除排雪を万全にするために、GPSロガーによるチェックは行われているが、除雪状況に向けたドライブレコーダーの導入による除雪レベルの確認は行わないのか。

1年前の答弁 ドライブレコーダーの導入は検討する。
現在 6月25日開催の冬季除雪対策打ち合わせにおいて協議した結果、事故発生時の映像確認のためのものであり、毎回出動後映像データを回収し確認するというのは現実的ではない。オペレーター育成のためには実技講習会参加が効果的との意見があったため、ドライブレコーダーの導入は見送ることとした。



人に優しい除雪を

(小玉 正範)



議会を傍聴しました

人生初の議会傍聴



保坂 茜さん
(寺庭)

11月千葉県から五城目町に家族で移住してきました。いちカフェのSNSでの呼びかけで議会傍聴出来ることを知り、人生初の傍聴をしました。議員の質問から、その方が何を重要視しているか、町がどんなことに取り組もうとしているかが伝わってきました。そのやりとりを聞く中で、自分自身の関心事や、どんな考えを持っているのかに気づくことが出来ました。以前住んでいた自治体でも傍聴に行けば良かったなと思えました。



本来政治は身近なものであるとは思いつつも、今まで実感したことはありませんでした。小さなコミュニケーションであればあるほど、自分たちが町を作っているという意識を持ちやすいのだと感じました。

また、印象に残っているのは「課の垣根を超えて」という意見でした。細分化されすぎて真理が見失われてしまわぬよう、横の繋がりを持ち、連携を取ることが、町の様々なことをスムーズに実現するにあたり重要なのではないかと思えました。



元家主(左から二番目)と保坂さん家族

(佐沢由佳子)

がんばってます

中学生になって



五城目第一中学校
1年
伊藤 〇〇さん

私は中学校一年生になって頑張っていることが二つあります。一つ目は英語です。小学校一年生から始め、今では人に教えられるようになりました。また、英語検定の四級を受け合格しました。今年は三級に挑戦したいです。自分が趣味として始めた英語をここまで生かして、とても嬉しいです。まだまだ英語を楽しみながら頑張ろうと思っています。

二つ目は卓球です。小学校二年生から始め、最初は一勝もすることができなかったけど、監督やコーチ、そして家族に卓球での技術、精神面などいろいろなことを教えてもらいました。新人戦で3位になり、全県に出場することができました。これからもたくさん試合をして、新しく学んだことを部活で意識して取り組みたいです。



卓球の練習風景

私は将来、父親みたいな救急

(伊藤 信子)

編集

後記



あけましておめでとうございます。新しい年を迎え、まずは目の前の事、人を大切にしたと思う日々です。昨年度は、これまで五城目町で生まれ育ち感じてきたことや、皆様の御意見を少しでも町政に反映し、お役に立ちたいと、初めて議員に当選させていただき、右も左も分からないところから地道に活動して参りました。

令和7年は巳年。蛇は脱皮し変化を繰り返しながら成長するため「変化と再生」の象徴とも言われています。わたし自身も変化を恐れず、いくつになっても学び、日々精進していきたいと思えます。

今後は広報編集委員として、町民の皆様から読まれる広報作りに励みたいですね。

議会広報編集委員

伊藤 信子 記

